

書字練習

年 月 日

木曾路はすべて山の中である。あるところは岨^{そば}づたいに行く崖の道であり、
あるところは数十^{けん}間の深^{のぞ}さに臨む木曾川の岸であり、あるところは山の尾
をめぐる谷の入り口である。一筋の街道^{かい どう}はこの深い森林地帯を貫いていた。
東^{じつ}ぎかいの桜沢から、西^{きょく}の十曲峠まで、木曾十一宿はこの街道に添うて、
二十^{り よ}二里余にわたる長^{けい}い^{こく}谿谷の間に散在していた。

出典
：夜明け前 島崎 藤村 著